放課後等デイサービス『ココカラ西五所』

〈理念〉「子どもたちの未来をよくするために、人と人、人と社会をつなぐ一番の応援者となる」

☆療育目標

「生きる力」を育み、人間社会のなかで自らの人生を歩む。

☆療育指針

・受容的交流を基本姿勢とし、人と人とのつながりによる療育を行う
・感覚統合理論を主軸とした、個別運動/少人数制プログラムを実践する。
・安心安全な環境を整え、心身の健全な成長と発達をサポートし未来につながる経験を提供する。
・保護者支援と関係者、地域、社会への積極的協力と啓発を行う。
・福祉従事者として臨床研修に努め、療育の質を高めるとともに、その内容を還元する。

☆療育プログラム

・感覚統合の視点から、個人の長所や発達課題を理解(推測)し、個別の療育プログラムを行なう。
・感覚統合－運動をはじめ、個人や個人のライフステージに必要な療育を提供する。
・プログラム活用：「何をやるか」より「どうやるか」。指導員の「受容と発想力」を重視する。
・家庭との連携を図り、且つ家族員の課題や問題への支援を行ない、全体的ケアを行なう。
・地域、関係機関との連携を図り、立体的な支援を行なう。

ココカラの運動療育「zest」

[zest]の正式な名称は、[zest for living]です。意味は「生きる力」!!

[zest]の意味は、強い熱意、強い興味、活力。

さらに英英辞典には[eager interest and enjoyment]とあります。
生きる力＝日常生活のなかで、ちょっとした喜びや楽しみを見いだし、感じる
生きる力＝自分の役割、課題解決の過程で、小さな喜びや楽しみを見つけ、感じる。

喜びや悲しみ、そのことに関心を持ち、他者と共有し、共感できる力･･･共有、共感できることを嬉しく思えるココロ･･･感覚統合-運動･療育を基盤とした生きる力を育むことを目指すココカラの療育に「zest」は、指針となる言葉です。

幕末の偉人、高杉新作の辞世の句
「面白き　事もなき世を　おもしろく　すみなすものは　こころなりけり」
面白いと思える事のない世の中をおもしろくする。それを決めるのは自分の気持ちの持ち方(こころ)次第だ。

自分のこころ次第で、自分の人生において輝くことができる･･･そんな思いを込めて、皆さまの応援のもと、ココカラ療育「zest」を開始いたします。

今後ともよろしくお願いいたします。

ココカラ西五所
スタッフ一同